令和 4年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: 農産物安全課
担当名: 農薬・植物防疫担当
内線: 4121

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B1	化学肥料低減経営強化緊急対策事業	一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	肥料コスト低減対策費

事業期間	令和 4年度	根拠法令	なし	針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsｺﾞｰﾙ	2,15
				分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsﾀｰｹﾞｯﾄ	2-1,2-3,2-4,15-

1　事業概要

化学肥料の価格高騰の影響を最小限にするためには、緊急かつ機動的に、肥料原料輸入価格の影響を受けにくい栽培体系に転換を促し、経営強化を図る必要がある。

また、ハード整備の支援策がないため、国の支援金の要件である化学肥料使用量の２割低減に向け、県が機械等の導入を支援し、取組を促進する。

ア　機械等の導入補助　245,667千円
イ　推進事務費　4,910千円

2　事業主体及び負担区分

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分）
（国10/10・県0）

3　地方財政措置の状況

なし

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×2人＝19,000千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　機械等の導入補助　245,667千円
化学肥料使用量を低減する栽培体系に転換を図るために必要な機械等の経費を補助する（補助率1/2以内）。

イ　推進事務費　4,910千円
アの事業導入を推進するための県事務費。

（2）事業計画

ア　機械等の導入補助
(ｱ)　交付要綱等の作成
(ｲ)　申請受付、審査、交付決定
(ｳ)　補助金交付、検査確認

イ　推進事務費
(ｱ)　事業周知用チラシ、事業の手引き及び応募要領の作成
(ｲ)　事業説明会の開催（関係団体向け、農業者向け）

（3）事業効果

生産コストが削減され、農業経営の強化を図ることができる。

国の肥料価格高騰対策事業の要件である「化学肥料使用量の２割低減」の取組（本年から２年間）を国の事業と連携して県全体で促進する。

みどりの食料システム戦略の目標である化学肥料使用量の低減30％（～2050年）に向け取組が進む。

（4）県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

ＪＡグループさいたまと連携し、事業を円滑に運営。

予算額		財源内訳 国庫支出金						一般財源	補正後の予算額
決定額	250,577	250,577						0	250,577
現計額	0							0	

事業内訳書

事業名	化学肥料低減経営強化緊急対策事業		
単位事業名	機械等の導入補助	予算額	245,667千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	245,667	—	63件分
合計	245,667	—	

単位事業名	推進事務費	予算額	4,910千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	3,630	—	資料印刷代
役務費	840	—	資料送付代
使用料及び賃借料	440	—	説明会場賃借料　8回分
合計	4,910	—	